



中日病院 名古屋
市中区丸の内3の12
の3。☎中日病院＝
052(961)2491

大腸コンピューター断層撮影(CT)検査は、CT装置で撮影した画像から三次元画像を作成し、大腸ポリープやがんを診断します。

内視鏡検査と比較すると、検査時間が一回十分程度と短く、おなかの張りや不快も少ないです。必要な精密検査を避けている人や、高齢者、過去に内視鏡検査がつかかった人に、内視鏡検査の前段階として大腸CT検査を受けていただくことをお勧めします。

大腸CT検査は、検査前日に大腸内の便が少なくなるような食事

大腸CT検査



大腸がん①

を選び、少量の造影剤や下剤を飲む前処置を行います。当日は、肛門から細い管を入れて二酸化炭素を注入し、撮影をします。

撮影した画像を解析すれば、治療が必要な病変を、大腸内視鏡に劣らずに検出できるとされています。今後、苦痛の少ない大腸CT検査が行われる件数は増えると予想されます。

一方、適度な運動をして、野菜や果物を多く取ると大腸がんの発生が少なくなるとの報告もあります。日常生活にもなるべく気を配ってください。

(山田尚史 消化器内科部長
・談)

苦痛少ないCTも導入